

# 飛ほん古こ為い新しん

古きを翻して新しきを為す

■高島屋史料館 ■入場無料

■平成24年

〈前期〉1月5日(木) ↓ 2月21日(火)  
〈後期〉2月23日(木) ↓ 3月27日(火)

## よのへ 75年の歩み

時代を彩る、  
年々のコレクション。  
今、貴重な公開です。

呉服の名匠が、高島屋の審査を  
経て、年に一度、発表する  
染繡の最高傑作コレクション。  
上品會。

昭和11年から現在まで、  
高島屋史料館にのこる年々の  
力作を、今、一堂に  
ご覧いただきます。

高島屋史料館

高島屋史料館 (大阪市浪速区日本橋3-5-25/高島屋東別館3階)

 Takashimaya



# 翻古為新

古きを翻して新しきを為す

高島屋史料館

大阪市浪速区日本橋3-5-25  
高島屋東別館3階

入場無料

「織、染、績、纈、績」の染織

五芸を競う上品會。流行の百

選会に対し、「翻古為新(古きを

翻して新しきを為す)」の掛

け声の下、流行に左右される

ことのない「上善純真完美の

妙境」を表し、その真価を正

しく伝えようとして発会され

ました。1936(昭和11)年

大阪長堀店開店15周年記念に

端を発し、戦争の激化とともに

中断されましたが、1953

(昭和28)年に再興、名匠老舗

の協力で今日に至ります。

60回を迎える今年、時代の

厳しさの中で名匠や老舗の同

人と高島屋が切磋琢磨してき

た努力の歳月そのものの上品

會の歴史を史料館でぜひご覧

ください。

前期

## 新よこへ會 75年の歩み



ヨーロッパからもたらされた革製品の豪華さ、立体感の表現を織物で試みた丸帯。  
金唐華大唐花  
1958(昭和33)年  
第6回



大量の紋紙を使用し、南蛮図柄を西陣の技で織りあげた訪問着。  
南蛮渡り  
1987(昭和62)年 第35回



豊臣秀吉ゆかりの桐文様に、松、竹を組み合わせた、豪華荘重な振袖。  
豊公錦綾文 1953(昭和28)年 第1回

後期



温室のような近景から遠景の明るい楽園と山並みが望まれる、創意豊かな黒留袖。  
研庭 1953(昭和28)年 第1回



白地に何色かの金糸、銀糸で品格高く松を表した衿襦(ころもうちかけ)。  
金寿陽輝  
1958(昭和33)年 第6回



絶えることのない波と波頭を組み合わせた色彩的、リズムカルな吉祥文様の丸帯。  
宝海寿波  
1961(昭和36)年 第9回

平成24年

〈前期〉1月5日(木) ↓ 2月21日(火)  
〈後期〉2月23日(木) ↓ 3月27日(火)

高島屋史料館のご案内

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋3-5-25  
高島屋東別館 南側入口3階  
TEL(06)6632-9102 FAX(06)6632-9195  
午前10時〜午後5時  
日・水曜日・年末年始他展示替日休館



高島屋史料館

Takashimaya